

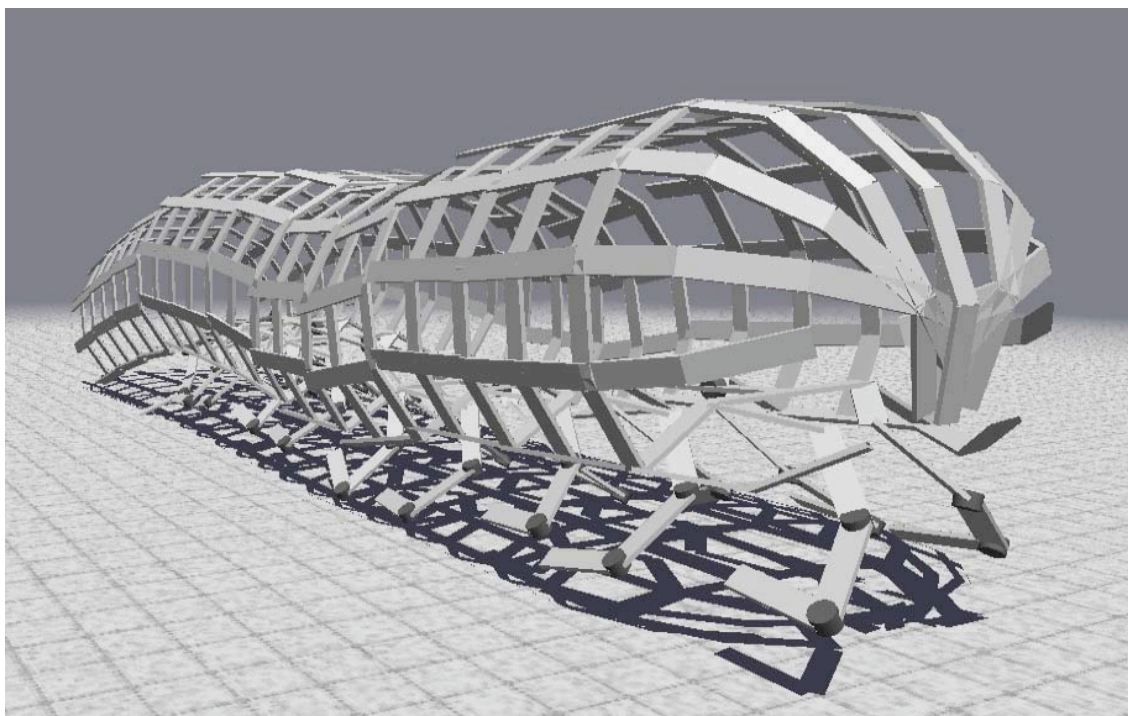
プレスリリース

山口情報芸術センター (YCAM)

第 21 回国民文化祭・やまぐち 2006 「メディア芸術祭」におけるアート作品

YCAM 夏休みワークショップ

「モジュロープ秘密研究所」開催のお知らせ



山口情報芸術センターでは、夏休み企画として、コンピューター上で自由に仮想生物を創ることができる「モジュロープ」というパソコン用ソフトウェアをつかった子供～大人一般まで参加できるワークショップ「モジュロープ秘密研究所」を、創作・学習室にて開催いたします。この事業は、第 21 回国民文化祭・やまぐち 2006 「メディア芸術祭」のひとつとして開催されるものです。

#### <実施概要>

実施日：2006 年 8 月 18 日（金）～8 月 31 日（木）（火曜休館） 開催時間：13:00～17:00

開催場所：山口情報芸術センター 創作・学習室

実施対象：小学校 1 年生～大人一般(小学校 3 年生以下は、保護者同伴のこと)



## <企画概要>

「モジュロープ」とは、パソコンでブロック遊びのように立体造形を行ったり、制作したオブジェ（造形物）に動きを設定したりすることの出来るソフトウェアです。また、成果作品をインターネットで公開したり、ユーザー同士で共有したりすることが出来ます。

このソフトは、東京・秋葉原にある、独立行政法人産業技術総合研究所が開発したパソコンソフトで、インターネットでフリーウェアとして公開されています。国民文化祭メディア芸術祭において、このソフトを利用した企画を開催するにあたり、学校教育の現場で利用しやすいよう山口情報芸術センターが改良・開発に協力して、新しいバージョンのモジュロープが出来上がりました。2006年6月～10月にかけて、当センターの教育普及スタッフが県内各地の学校に出向き、このソフトを用いて「インターネットでの情報共有の意味」「インターネットならではの創造性」といったテーマで出張授業を行ってきました。（※：参加校は下記参照）

今回、夏休み期間のワークショップとして、山口情報芸術センターの創作・学習室に設置したモジュロープ用パソコン端末を無料で解放し、自由にモジュロープを制作できる環境を提供します。出張授業を受けることが出来なかった学校の児童・生徒や、大人一般の方もモジュロープを体験できる機会となります。モジュロープについて習熟した複数名のスタッフが常駐しているので、初めてモジュロープを使ってみるという方や、自宅で利用してみようとしたが、わかりづらかった、というような方なども、使い方の説明を受けたり、創作のヒントを得たりすることが出来ます。

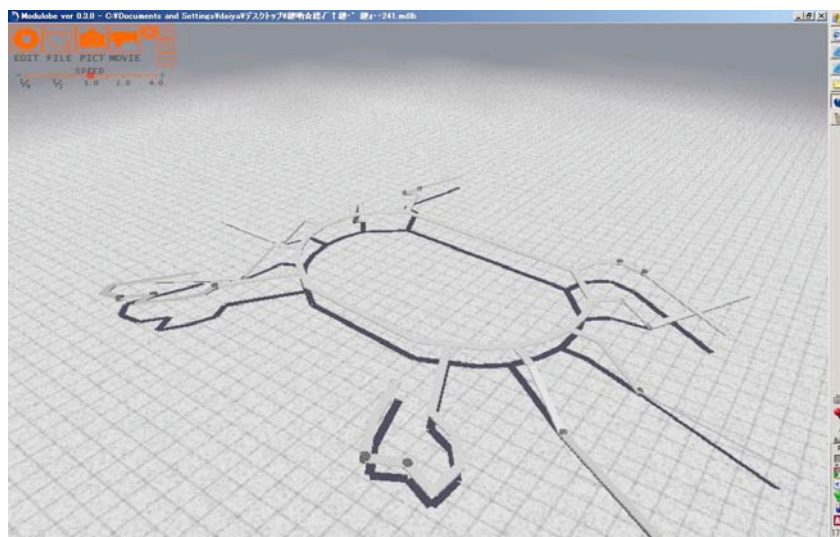
今回のワークショップで制作された成果作品は、11月3日（金）から開催される第21回国民文化祭やまぐち2006「メディア芸術祭」の会場である山口情報芸術センターにて展示される予定です。

※参加校：富田東小、山大附属小、串小学校、野田学園中、富田中、良城小、平川中、国府中、山大附属中、深川中、宮野中、嘉川小、浅田小、豊田西中、宮野小、明倫小、八坂小、右田小、大島小、大内南小、山口県内全19校)

## <モジュロブとは>

モジュロブは、独立行政法人産業技術総合研究所・情報技術研究部門情報流デザイングループが開発したパソコン用ソフトウェアで、厳密な物理シミュレーションが行なわれた 3D 空間内に「モジュール」と呼ばれる単純形を組み合わせることによって、専門的な知識がないユーザーでも比較的簡単に、仮想生物や機械のような動くオブジェクトをモデリングすることができます。モデリングおよび動きを設定した結果は即座に実行して動きを確認できるので、試行錯誤を繰り返しながら創造行為をおこなうことで、小学生であってもすぐに使い方を理解することができます。

また、このソフトウェアは成果作品をインターネットで共有・交換することを念頭において設計・公開されているため、すでにインターネット上のユーザーが様々なモデルを公開し、アーカイブを共有しています。(modulobe : URL= <http://www.modulobe.com>)



## <インターネット教育ツールとしてのモジュール>

インターネットという情報環境を子ども達に伝える場合、モラルの問題やセキュリティの観点から、どうしてもネガティブなコンテンツから遠ざけるという教育内容になりがちであり、実際にネットの可能性や創造性を伝えるための教材が見当たらないという状況があります。しかし実際の世の中を見てみると、たとえばインターネットを多くの部分で支えている「Linux」という OS（オペレーティングシステム：基本ソフト）の開発の経緯は、匿名のプログラマーが、有志（ボランティア）でプログラムの断片を改良していきながら徐々にその機能を向上させ、現在では世界で最も先進的で信頼される OS のひとつとして存在しているという状況があります。そしてこのことは、互いに顔も合わせたことのない小さな力同志がひとつの大きなプロダクトを生み出すという、インターネット出現以前の社会には無かった全く新しい創造性が生まれつつあることを表しています。こういった世の中の流れについて、ソフトウェア教材を通じて参加者に示すことが出来れば、大きな意義があると考えられます。



## <ワークショップ概要>

第21回国民文化祭・やまぐち2006「メディア芸術祭」

夏休みワークショップ「モジュローブ秘密研究所」

## <実施内容>

実施日：2006年8月18日（金）～8月31日（木）

授業時間：13:00～17:00

開催場所：山口情報芸術センター 創作・学習室

実施対象：小学校1年生～大人一般(小学校3年生以下は、保護者同伴のこと)

[主催] 文化庁、山口県、山口県教育委員会、山口市、山口市教育委員会、(財)山口市文化振興財団、  
第21回国民文化祭山口県実行委員会、第21回国民文化祭山口市実行委員会

[協力] 独立行政法人 産業技術総合研究所

[企画] 山口情報芸術センター

## <お問い合わせ>

山口情報芸術センター（担当：粟畑）

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216

E-MAIL:information@ycam.jp <http://www.ycam.jp>

※取材をご希望の方は事前にご連絡ください